

お申し込み
は裏面へ！

連携公開講座

西の都・大宰府と沖ノ島

東の都・斎宮と伊勢神宮

～地域祭祀の成り立ちと律令祭祀への変質～



大宰府跡・鬼瓦



福岡県太宰府市 大宰府跡政府



三重県多気郡明和町 さいくう平安の杜



斎宮跡・赤彩土馬



福岡県宗像市 沖ノ島(宗像大社 沖津宮)



三重県伊勢市 内宮

参加
無料

開催日時

2020年1月18日(土)

13時～17時(12時30分開場)



沖ノ島・金製指輪

定員

280名

※ 参加には事前申し込みが必要です。
お問い合わせは斎宮歴史博物館までお願いします。

会場

九州国立博物館ミュージアムホール
(太宰府天満宮横) ※ 西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分

主催



開館30周年！斎宮跡史跡指定40周年！

斎宮歴史博物館

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

お問合せ：0596-52-3800 (代表)

斎宮歴史博物館 web：www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/

共催



九州国立博物館



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM



大宰府跡 史跡指定
100周年



この講座は九州国立博物館「大宰府学研究」事業の一環として、
また「令和元年度 文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館
創造活動支援事業(博物館を中核とする文化クラスター形成支援
事業)」の一環として開催します。

講座内容・タイムテーブル

受付開始	12:30～	
開会あいさつ	13:00～13:10	
各遺跡紹介	13:10～13:50	
「東の都・斎宮と斎王」		
	斎宮歴史博物館 調査研究課	やまなか ゆきこ 山中 由紀子
「西の都・大宰府」		
	九州歴史資料館 文化財調査室	よしだ とうめい 吉田 東明
基調報告	13:50～14:30	
「王権祭祀から律令祭祀へ」		
	愛知教育大学 名誉教授	にしみや ひさき 西宮 秀紀
休憩 (15分)	14:30～14:45	
報告1	14:45～15:15	
「考古資料からみた斎宮・伊勢神宮の成立」		
	斎宮歴史博物館 調査研究課	みやほら ゆうじ 宮原 佑治
報告2	15:15～15:45	
「考古資料からみた宗像君と沖ノ島祭祀」		
	九州国立博物館 展示課	こじま あつし 小嶋 篤
休憩 (15分)	15:45～16:00	
シンポジウム	16:00～16:50	
コーディネーター	九州歴史資料館 学芸調査室	さかい よしし 酒井 芳司
閉会あいさつ	16:50～17:00	

古代の地方官衙として著名な大宰府跡と斎宮跡、そして古代から現在に至るまで信仰の対象であり続ける沖ノ島(宗像大社・沖津宮)と伊勢神宮。筑紫(福岡県)と伊勢(三重県)と遠く離れていますが、広大な方格街区をもつ官衙や、国家神とも言える天照大神と宗像三女神の関係など、多くの繋がりがみられます。

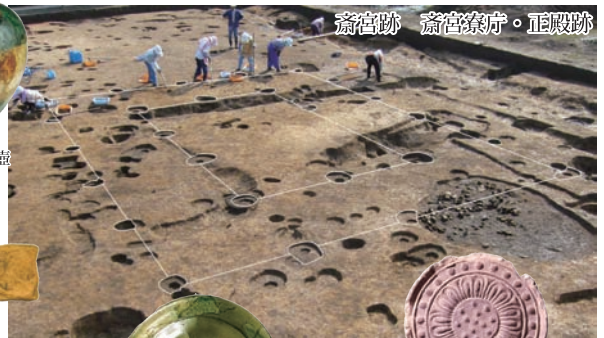
本講座では、大宰府と沖ノ島祭祀、斎宮と伊勢神宮がどのように成立し、どのような国家的な役割を担ったのか。祭祀をキーワードに文献史料・考古資料の最新の研究成果から読み解きます。



沖ノ島 半岩陰・半露天祭祀



沖ノ島・奈良三彩小壺



斎宮跡 斎宮祭宇・正殿跡



斎宮跡・いろは歌墨書土器



斎宮跡・陰刻花文緑釉陶器



大宰府跡・軒瓦

お申し込み方法

往復はがき (1人につき1枚有効)

お申し込み期間

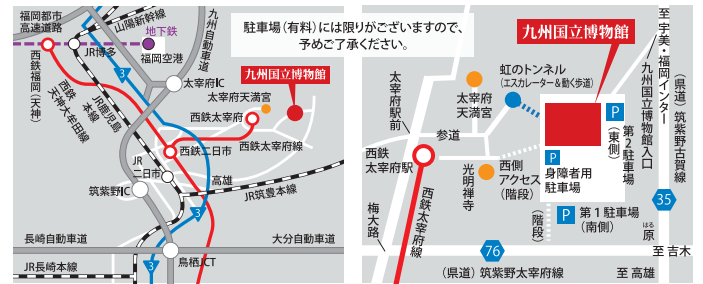
**2019年11月13日(水) から
2020年1月8日(水) まで**

あて先は **※1月8日(水) 消印有効**
斎宮歴史博物館 公開講座(福岡) 係

※ お申し込み者数が定員(280名)をこえた場合は抽選となります。
往復はがきの記入方法は下図を参考にしてください。

講座会場までのアクセス

西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約19分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分



往信おもて

返信うら

返信おもて

往信うら



往信

5150325

斎宮歴史博物館

公開講座(福岡) 係

三重県多気郡明和町竹川503

何も記入しないでください。

お申し込み者数が定員をこえた場合は抽選となります。
抽選結果を1月15日(水)までに発送いたします。



返信

□□□□□□

見本 申し込み者の住所・氏名

- 郵便番号
- 住所
- 名前(ふりがな)
- 電話番号(緊急連絡用)

※ 電子メールアドレスをお持ちの方はあわせてご記入ください